



(住所) 明日香村雷
(祭神) 気吹雷神、響雷神
(交通) 橿原市コミュニティバス
(大和八木駅〜橿原神宮前)

駅・土日のみ) または赤か
め周遊バス(飛鳥駅〜橿原
神宮前駅東口)で明日香小
山下車。徒歩約5分

気吹雷響雷吉野大国栖御魂神社跡 (明日香村)



気吹雷響雷吉野大国栖御魂神社は「延喜式神名帳」に記載された名神大社でしたが、現在廃絶社となっています。明日香庭球場の西側、田んぼの中の高まりにエノキとセンダンの大樹が寄り添う場所が神社の跡地とされています。近くを飛鳥川が流れており、地元

の人の話では、元々は少し上流の雷丘の近くに

様だと想像します。

ところで明日香村にある神社に何故、吉野、国栖の地名が入っているのでしょうか。かつてこの場所に九頭明神を祭る社

あったものが、洪水でこの場所に流れ着いたものと伝承されています。祭神は気吹雷神と響雷神の二神です。「気吹」とは神の吐く息を意味し、風のこと、「響」は雷鳴のことです。つまり「風神雷神」のような神

場所に九頭明神を祭る社があり、干ばつの時に雨乞いをしていました。国栖は九頭と同様に「クス」の呼称を持つことから、この神社も龍神など、水

との関わりが深い神社だったでしょう。また、吉野の国栖と言えば、大海人皇子を助けた逸話で知られる、壬申の乱を想起させます。

現在痕跡のない神社跡ですが、近くに雷丘、天香具山。少し南に歩いて西を眺めると畝傍山、二上山が、飛鳥時代と変わらぬ、万葉集にも詠われた美しい姿をとどめます。(奈良まほろばソムリエの会 瀬川泰紀)

かつて雷神祭り雨乞いも

現在痕跡のない神社跡